



『2016 拳真祭』

ワールド F.S.A 空手グランプリ

フルコンタクト空手・ケイオス防具付空手(顔面有りポイント制ルール)
型・グローブ空手・総合格闘技武蔵 MMA ルール・R F チャレンジルール

拝啓

皆様におかれましては空手道の修行、道場の発展の為、御尽力されている事と存じます。

さて、毎年恒例となりました秋の行事『拳真祭』は、“空手のルールは様々あれど空手はひとつ”のスローガンの元、様々な空手ルールをお互いが認め合い学び会うという基本理念に今年も共鳴を頂き、本年度は『2016 拳真祭』ワールド F.S.A 空手グランプリを国立代々木競技場第二体育館にて開催する運びとなりました。

今大会は、今年も海外から選手を多数招聘して開催される国際大会でございます。

又、従来のフルコンタクト空手ルールに加え、ケイオス(防具付空手)ルール、グローブ空手ルール、型、武蔵 MMA ルール(総合格闘技ルール)、R F チャレンジルールの全6部門にて開催致します。つきましては新部門も増え、参加道場もさらに広がった、今大会の趣旨に是非御賛同頂き、多くの皆様のご参加・ご協力頂きます様、何卒お願い申し上げます。押忍。

敬具

平成28年 6月 吉日

大会最高審判長 羽山 威行

大会審判長 内田 和久

大会実行委員長 佐藤 真之

大会運営委員長 末村 淳

大会副運営委員長 松下 昌之

主催 国際 F.S.A 拳真館空手道連盟 総本部
主管 NPO 法人 世界 F.S.A 空手格闘技連盟
開催日 **2016年9月11日(日)**

カテゴリー

- ① フルコンタクト空手ルール
- ② ケイオス(防具付空手)ルール
- ③ グローブ空手ルール
- ④ 型
- ⑤ 武蔵 MMA (総合格闘技ルール) 本戦3分 延長2分
ヘッドギア着用、寝技30秒間まで、タックル、関節技、絞め技、パウンドあり
- ⑥ R F チャレンジルール スーパーセーフ着用、投げタックル有り、寝技10秒(ポジショニングまで) 締め関節技、パウンド禁止

時間

開場	午前9時00分
受付	午前9時00分～午前9時30分
開会式	午前10時00分
表彰	コート表彰式

場所

国立代々木競技場 第2体育館
〒150-0041 東京都渋谷区神南2-2-1 TEL 03-3468-1177

交通

JR原宿駅下車、地下鉄千代田線 神宮前駅下車、各徒歩3分

参加費用

◎フルコン・ケイオス防具付空手・グローブ空手	¥7,000
◎武蔵MMAルール	¥7,000
◎RFチャレンジルール	¥6,000
◎型試合のみ 小・中学生	¥5,000
◎型試合のみ 一般	¥6,000
◎ダブルエントリー	¥8,000

※ダブルエントリーの選手は申込書を種目別に必ず二枚提出してください。

型とフルコン、型とケイオス防具付空手、型とグローブ空手ルール、

型と武蔵MMAルール、型とRFチャレンジルールのダブルエントリーが出来ます。

※試合が重ならない様に調整しますので、振るってご参加下さい。

(1～3位入賞者にメダル、その他全参加者に参加賞状・パンフレット含む)

申込み締切り

2016年8月15日(月)必着 申込書不足分はコピーして下さい。

申込み方法

所定の申込書に記入捺印の上、参加費と共に**必ず現金書留で郵送してください。**
参加費は団体責任者が一括して参加申込み用紙を、現金書留にて締切日までに郵送してください。申込み用紙のみ、参加費のみ、FAXのみの申込みは受けません。

注意事項

- ① 選手は事前に健康診断を必ず受診してください(診断書提出不要)。
- ② スポーツ保険に各自加入してください。(保険は4月での更新の場合が多いのでご注意ください)また、試合当日は万一のため健康保険証の持参をお勧めいたします。
- ③ セCONDは2名とし、セCONDパスを大会当日発行します。
- ④ セCONDは正装にて。また、過激な応援はご遠慮ください。
- ⑤ 試合中負傷または事故が生じた場合、主催者は一切責任を負いません。
- ⑥ 何らかの理由で参加不可能となった場合必ず大会事務局まで連絡してください。
- ⑦ 大会事務局に納入した参加費はいかなる理由があろうとご返却出来ません。
- ⑧ ゼッケンは大会当日、各団体一括でお渡しします。
- ⑨ 審判員・スタッフには昼食を用意致します。選手は各自ご用意ください。
- ⑩ 出場選手の肖像権は主催者に帰属します。各種報道機関等が取材する場合がありますが、映像や画像が放映、掲載される場合があることをご了承ください。
- ⑪ 女子クラスの道着の下へのTシャツ着用は、白色のみ認めます。
男子クラスのTシャツ着用は、禁止となります。
- ⑫ 会場の駐車場は使用できません。近隣のコインパーキングをご利用ください。
- ⑬ **三位決定戦はありません。**

送付宛先

〒166-0003 東京都杉並区高円寺南 4-28-2 第二高円寺 603号
「FSA 拳真館大会実行委員会」宛
TEL 03-5378-6036 ※転送の場合は留守電にメッセージを入れてください
FAX 042-638-0859 携帯 070-5029-1110 (佐藤)

一 大会種目 一

『2016 拳真祭』ワールド F.S.A 空手グランプリ

★ フルコンタクト空手ルール ジュニア部門

種目番号	種目名	種目番号	種目名
01.	幼年クラス男子 初級【無級・白帯】	16.	小学4年男子 上級【4級・緑帯以上】(黒帯可)
02.	幼年クラス女子 初級【無級・白帯】	17.	小学4年女子 (黒帯可)
03.	幼年クラス男子 上級【有級、9級・オレンジ帯以上】	18.	小学5年男子 中級【5級・黄帯まで】
04.	幼年クラス女子 上級【有級、9級・オレンジ帯以上】	19.	小学5年男子 上級【4級・緑帯以上】(黒帯可)
05.	小学1年男子 初級【白・オレンジ帯・9級まで】	20.	小学5年女子 (黒帯可)
06.	小学1年男子 上級【8級・青帯以上】(黒帯可)	21.	小学6年男子 中級【5級・黄帯まで】
07.	小学1年女子 (黒帯可)	22.	小学6年男子 上級【4級・緑帯以上】(黒帯可)
08.	小学2年男子 初級【9級・オレンジ帯まで】	23.	小学6年女子 (黒帯可)
09.	小学2年男子 上級【8級・青帯以上】(黒帯可)	24.	中学男子軽量級(50kg未満)の部 (黒帯可)
10.	小学2年女子 (黒帯可)	25.	中学男子中量級(60kg未満)の部 (黒帯可)
11.	小学3年男子 初級【7級・青帯まで】	26.	中学男子重量級(60kg以上)の部 (黒帯可)
12.	小学3年男子 上級【6級・黄帯以上】(黒帯可)	27.	中学女子の部 (黒帯可)
13.	小学3年女子 (黒帯可)	28.	高校男子軽中量級(60kg未満)の部 (黒帯可)
14.	小学4年男子 初級【9級・オレンジ帯まで】	29.	高校男子重量級(60kg以上)の部 (黒帯可)
15.	小学4年男子 中級【8級・青帯～5級・黄帯まで】	30.	高校女子の部 (黒帯可)

★ フルコンタクト空手ルール 一般男子・女子・マスターズ部門

31.	女子軽量級(52kg未満)(黒帯可)	37.	(中級)黄帯～緑帯 一般色帯軽中量級(70kg未満)
32.	女子重量級(52kg以上)(黒帯可)	38.	(中級)黄帯～緑帯 一般色帯重量級(70kg以上)
33.	マスターズの部(40歳以上 70kg未満)(黒帯可)	39.	(上級)茶帯以上 一般上級軽量級(65kg未満)
34.	マスターズの部(40歳以上 70kg以上)(黒帯可)	40.	(上級)茶帯以上 一般上級中量級(75kg未満)
35.	(初級)白帯～青帯 一般色帯軽中量級(70kg未満)	41.	(上級)茶帯以上 一般上級重量級(75kg以上)
36.	(初級)白帯～青帯 一般色帯重量級(70kg以上)		

★ ケイオス防具付空手 (顔面突き有りポイント制ルール)

42.	幼児男女混合	48.	小学3～4年生女子	54.	マスターズ軽量級(40歳以上70kg未満)
43.	小学1年生男子	49.	小学5年生男子	55.	マスターズ重量級(40歳以上70kg以上)
44.	小学2年生男子	50.	小学6年生男子	56.	一般女子
45.	小学1～2年生女子	51.	小学5～6年生女子	57.	一般男子 軽量級 (70kg未満)
46.	小学3年生男子	52.	中学生男子	58.	一般男子 重量級 (70kg以上)
47.	小学4年生男子	53.	中学生女子		

★ グローブ空手ルール（高校生以上 40 歳未満）

59.	超軽量級（55kg 未満）	61.	軽中量級（65kg 未満）	63.	中重量級（75kg 未満）
60.	軽量級（60kg 未満）	62.	中量級（70kg 未満）	64.	重量級（75kg 以上）

★ 型

65.	小学 1～2 年生男女	68.	小学 5～6 年生女子	71.	マスタース男女混合（50 歳以上）
66.	小学 3～4 年生男女	69.	中学生男子	72.	一般女子（16 歳以上）
67.	小学 5～6 年生男子	70.	中学生女子	73.	一般男子（16 歳以上）

★ 武蔵 MMA（総合格闘技ルール）（本戦 3 分 延長 2 分・寝技 30 秒・絞め技、パウンドあり）

74.	一般男子 ライト級 60kg 未満	77.	一般女子 ライト級 45kg 未満	79.	シニア男子ライト級(40 歳以上) 60kg 未満
75.	一般男子 ミドル級 70kg 未満	78.	一般女子 ミドル級 45kg 以上	80.	シニア男子ミドル級(40 歳以上) 70kg 未満
76.	一般男子 ヘビー級 70kg 以上			81.	シニア男子ヘビー級(40 歳以上) 70kg 以上

*参加人数によりクラスの統廃合がございます。あらかじめご了承ください。

*計量時に規定の体重をオーバーしている場合は失格となります。

★ RF チャレンジルール

（スーパーセーフ着用、投げタックル有り、寝技 10 秒（ポジショニングまで）締め関節技、パウンド禁止）

82.	RF チャレンジ 一般の部 軽量級（65kg 以下）	86.	RF チャレンジ マスタース 中量級（66kg～75kg 以下）	90.	RF チャレンジ シニア 重量級（76kg 以上）
83.	RF チャレンジ 一般の部 中量級（66kg～75kg 以下）	87.	RF チャレンジ マスタース 重量級（76kg 以上）	91.	RF チャレンジ女子の部
84.	RF チャレンジ 一般の部 重量級（76kg 以上）	88.	RF チャレンジ シニア 軽量級（65kg 以下級）		
85.	RF チャレンジ マスタース 軽量級（65kg 以下）	89.	RF チャレンジ シニア 中量級（66kg～75kg 以下）		

*出場者数により、規定の体重に近い者同士、安全を考慮した上でトーナメントを再編することもあります。

－ 試合規約 －

『2016 拳真祭』ワールド F.S.A 空手グランプリ
【フルコンコンタクト空手ルール】

相手の勝者は、一本勝・判定勝ち・相手の反則ないし失格による勝ちにより決定される。

試合時間	一回戦～準々決勝	<ul style="list-style-type: none"> ● 幼年、小学生、中学生、高校生クラス 本戦(1分30秒)→延長(1分)→マスト方式による判定(体重判定は行わない) ● 女子・マスターズ・一般色帯クラス・一般上級クラス 本戦(2分)→延長(1分)→マスト方式による判定(体重判定は行わない)
	準決勝、決勝戦	再延長1分あり→マスト方式による判定(体重判定は行わない)

1. 一本勝ち(技あり2本で一本) 反則箇所を除いて、突き・蹴り・肘打ち等を瞬間的に決め、相手を3秒以上ダウンさせるか、相手が試合続行不可能となった場合。
3秒以内に立ち上がった場合は「技あり」。
上段蹴り、胴廻し回転蹴りがノーガードの相手に的確に当たった場合は技あり、触れただけや、押したような蹴りは技ありを取らない。
2. 判定基準
 - A. 定められた時間内で勝敗が決着しない場合は、有効打数優勢に試合を進めたか、減点等の総合判定を主審、副審が行い、過半数を支持された者が勝者となる。
 - B. 一回戦～準々決勝戦までは延長戦でマスト方式、準決勝・決勝戦は再延長戦でマスト方式により勝敗を決する。体重判定は行わないものとする。
 - C. 「注意」「減点」「技あり」の力関係
注意2＝減点1 減点1を受けている場合は負けとなる。
減点1<技あり 減点1を受けていても技ありを取っている場合は勝ちとなる。
注意4で失格。
 - D. 本戦での注意、減点は延長戦には持ち越されない。
3. 反則
 - A. 反則は悪質なものを除き、注意が与えられ、注意4で失格となる。
 - B. 拳・肘による顔面殴打。
 - C. 金的蹴り、貫手による顔面・首・頭突きの攻撃。
 - D. ダウンした相手に当てたり、蹴ったとき。
 - E. 以上の他審判員が特に反則とみなしたとき。
 - F. 相手をつかんだ時。
 - G. 主審判断により、特に悪質な試合態度とみなされた時。
 - H. 掌底または拳で押すこと。
 - I. 相手を抱えたままの攻撃。先に抱えた方が反則(相手の脇に腕を入れての攻撃も不可)
 - J. 一般部は膝蹴りの際の瞬間的なヒッカケは可、但し連続で行うことは、不可。
小中高校生のつかみ・ヒッカケはすべて反則。
 - K. 技のかけ逃げ、自ら技をかけているように見せ、倒れ、相手に攻撃させない。
 - L. 頭をつけての攻撃はバッティングの反則
 - M. 幼年・小学生の上段膝蹴りは安全性考慮のため反則。中学生以上は認める。**
4. 失格
 - A. 試合中、審判員の指示に従わない時。
 - B. 出場時刻に遅れたり、出場しないとき。
 - C. 見合ったままでの状態で1分以上経過した時。
 - D. 粗暴な振るまい、悪質な試合態度とみなされたとき。
 - E. 注意を4回受けた時。
 - F. セCOND及び選手が相手選手や特に審判に対してヤジった場合、その選手だけでなく団体を即刻退場とする。
 - G. 軽量級、中量級で体重オーバーの際、減点か失格。
5. 正当な理由なくして試合を放棄した時。但し下記の場合は例外とする。
 - A. 大会主治医の診察を受け、その結果、試合続行不可能と見なされた時。
 - B. 試合直前または試合中、本人に関する不慮の事故(家族に何か不幸が生じた場合など)が発生し、審判長・審議委員長が協議の上、退場を許可した時。
 - C. 正当な理由なく試合を棄権及び放棄した場合は、違約金10万円を申し受けます。
 - D. 交流試合の為、審判によって下された判定に対する審議等の申し入れは一切できないこととします。
6. 防具
 - A. 幼年・小学生、中学生、高校生クラスはヘッドギア、拳サポーター、レッグサポーター、ファールカップ着用、中学生以上は膝サポーター着用を義務付ける。

- B. 中学・高校女子はイサミのチェストプロテクター着用(小学校女子3年生から6年生は任意で着用)。
- C. 一般色帯・一般女子・マスターズはパンチンググローブ(親指のみフィンガーカットグローブ可。オープンフィンガーグローブ、拳サポーターは不可)、レッグサポーター、ファールカップ着用を義務付ける。
- D. ヘッドギアは主催者側で用意致しますが、その他の防具は各自で用意してください。
*(拳・足 甲サポーターは中身がスポンジ製で表は布製のものを使用)。
- E. 各クラス共テーピングは可。過度のテーピングは不可。バンテージの着用は不可。
- F. レッグサポーター内のプラスチックパットは禁止。つけて試合を行ったら失格。
- G. 一般上級クラス出場者は素手素足のうえファールカップ着用のこと。

【ケイオス防具付空手ルール】

- 1. 防具 空手用ヘッドガード・胴プロテクター・拳サポーター・レッグサポーター・ファールカップ着用(女性もアンダーガード)。(サポーターは布製のもの)(パンチンググラブ不可、手に軍手・バンテージOK、ニーサポーターは任意)
空手用ヘッドガード・胴・専用拳サポーターは主催者側が用意します。
少年部門で拳サポーターを持参いただく場合は指定の物「イサミ製カラー拳サポーターL-3092少年用」を各自持参のこと。当日販売はありません。
- 2. 試合時間 2分間(小・中学生・マスターズ・一般女子は1分30秒)延長戦1分(1ポイント先取り)
- 3. 1本 的確な打撃によるダウンまたは5ポイント先取。
- 4. 技あり プロテクター着用部位(上段・中段)への的確な打撃(突き・打ち・蹴り)をポイントとする。(連打を認める・ローキックを認める)ただし、掌底・バックハンドは禁止とする。ローキックについてはフルコンタクトカラテと同基準(ダメージ)とする。(ジュニアについては直突きのみとし、ローキックも禁止とする)相打ちについては双方にポイントを与える。また、足払い・カッティングキックからの瞬時の極めはポイントとなる。
- 5. 判定 ポイントが多い方を勝者とする。また、ポイントに差がない場合、明らかに攻撃の多いものを勝者とする。
- 6. 反則 掌底、バックハンド、膝蹴り、肘打ち、故意の投げ、つかみ、倒れた相手への直接打撃、背部・金的への攻撃、アッパー、執拗な掛け逃げ。
- 7. その他 注意2回、場外2回で相手に1ポイントを与える。著しい反則攻撃、逃げ回るなど闘う意志のないものは失格とする。

【グローブ空手ルール】

- 1. 防具 グローブ、ヘッドギア、レッグサポーター、ニーサポーター、ファールカップ、マウスピース着用。空手衣着用。
 - 2. 試合時間 2分間1ラウンド
 - 3. 1本 1本勝ち(KO)。突き、蹴りによる攻撃で3秒以上のダウン、又は、2度の技あり。
 - 4. 判定 技あり → 突き蹴りによる攻撃で一時的にダウンし、3秒以内に立ち上がったとき。または、倒れはしないが、一方的な連打をあげたとき。ドローの場合1分のインターバルののち1分間の延長戦。副審(2名)およびレフリースによる旗判定とする。(本戦もレフリースを主審とする)
 - 5. 反則 肘による顔面殴打、金的けり・頭突き・投げ、ダウンした相手への攻撃、背中への攻撃、両手で掴んでの膝蹴り(首ずもう禁止)、度重なる場外。
 - 6. 減点 選手が規則に反したときはポイントを減ずる。
①反則を行なった時、注意を与え、注意2回で減点1、減点2で失格となる。
 - 7. その他 試合はトーナメントとする。バックハンド、片手で掴んでの膝蹴りを認める。
- ☆超軽量級(55Kg未満)・軽量級(60Kg未満)・軽中量級(65Kg未満) 14オンス
☆中量級(70Kg未満)・中重量級(75Kg未満) 重量級(75Kg超) 16オンス

【型ルール】

- ①正確さ(手の握り・目付き・下半身のふらつきなど)
- ②気合・気迫
- ③優美さ
- ④緩急
- ⑤難易度 の5項目から判定をする。判定は審判3名による旗判定とする。
※試合形式はトーナメント方式で行う。
※創作型は禁止、茶髪・金髪は禁止、必ず清潔な空手着を着用してください。

—競技規定—

★武蔵 MMA【総合格闘技ルール】

- ・主審 1 名、副審 2 名の三審制。
- ・一本勝ち、パンチか投げで K.O または TKO した場合。パウンド又は関節技、絞め技で主審が充分と認めた場合。関節技、絞め技でギブアップした場合。
- ・寝技は 30 秒間まで、関節技、絞め技、パウンド攻撃あり。
- ・判定の持ち点は、主審 1 点、副審各 1 点。タックルの数はカウントされ、判定での判断に加えられる。
- ・本戦は 3 分間。延長戦は 2 分間でマスト方式。決勝のみ再延長戦 2 分間を行いマスト方式で勝敗を決める。

【有効技】

顔面及び中段への拳による突き技、下段中段上段への蹴り技、タックル、投げ技、掴み、立ち関節技、寝技、絞め技、パウンド攻撃。

【反則技】

- ・肘打ち、頭突き、金的への攻撃、噛みつき、引っ掻き、目突き、つねり、顔部分の掴み、背後からの攻撃、バックドロップ、倒れ込みながらの肩固め、サッカーボールキック、グラウンド状態での膝蹴り。
- ・場外エスケープは、3 回で減点 1。4 回で減点 2 となり相手一本勝ち。体の一部がマットの外に出たらその時点でブレイク。
- ・手足三点立ち時への、全ての蹴り技攻撃禁止。

【防具】

ヘッドギア、専用オープンフィンガーグローブ、ファウルカップ、マウスピース、道着と帯着用。

裸足。脛と膝サポーターはスポンジ布製のみ任意で着用可。タトゥーのある場合のみ T シャツかラッシュガード着用必須。テーピングは要ドクターチェックサイン。

道着の袖無しは不可、道着肩の縫い目から 30cm 以上の袖丈を有する事を基準とする。反則の際には、減点 1 から試合開始。基本的に道着の貸出は無し。(試合中道着がアクシデントにより破れた場合は貸出可とする。)

尚、審判については、“巖流島”ルール経験者の内田和久総師範が主審、佐藤真之総師範代と松井教育部長が副審を担当し、今回審判は全て拳真館部内の審判で行う予定です。押忍。

—競技規定—

★RF チャレンジルール

RF チャレンジルール詳細

初心者、空手経験者、打撃系格闘技経験者の方たちで RF 空手ルールや武蔵ルール、MMA などの総合格闘技ルールの試合に挑戦する前に経験値を積みたい方初心者の方に最適のルールです。

スーパーセーフ着用、投げタックル有り、寝技 10 秒（ポジショニングまで）締め関節技、パウンド禁止
一般の部 マスターズ（35 歳以上）、シニア（45 歳以上）に分かれて行います。

○一般の部 マスターズの部 ルール

第 1 条 試合概要

試合はパンチ、キック等打撃技、投げ技、抑え込み技によるノックダウン及びギブアップにて勝敗を決する。打撃及び立ち技を中心とした試合である。

第 2 条 階級

軽量級（65kg 以下、女子 52kg 以下）中量級（66kg～75kg 以下、女子 53kg～57kg 以下）重量級（76kg 以上、女子 58kg 以上）

ただしトーナメント開催の際に、出場者数によっては安全に考慮した上で階級の統廃合する場合がある

第 3 条 試合時間

一般男子 2 分 30 秒、一般女子 2 分、マスターズ男女 2 分

第 4 条 服装

試合は日本武道総合格闘技連盟技術部の認める市販の空手着、柔道着、柔術着を着用する。

※袖等を短く切るなど変形させることを禁ずる。

※禅道会生は禅道会認定の空手着に統一する。。

第 5 条 防具

選手は日本武道総合格闘技連盟技術部認定のスーパーセーフ面、ファウルカップ、拳サポーターを着用する。

第 6 条 試合場

試合場は日本武道総合格闘技連盟技術部の指定する物（場）とする。

第 7 条 審判

①主審は日本武道総合格闘技連盟主催の審判講習会を受講したものが行い、選手の安全確保を最重要視したレフリングの義務を負い、試合に対して進行決着させる権限を有する。

②副審は日本武道総合格闘技連盟主催の審判講習会を受講したものが 1 名で行い、選手の安全確保を最重要視した主審のレフリングの補助を行う。

③審判団は判定時、主審、副審を合わせた 2 名の旗数により勝敗を決する。

第 8 条 勝敗の判定

(1)一本勝ち

3 秒以上のダウン

6 秒以上の戦意喪失

一方的に顔面を中心とした連打が 6 秒以上続いた時

危険防止の為に主審の判断によるテクニカルノックアウト

相手選手が反則を 4 回もしくは悪質な反則により主審が失格とした場合

技有り 2 つによるあわせ一本勝ち

(2)技有り

ダウン

3 秒以上 6 秒未満の戦意喪失

一方的に顔面を中心とした連打が 3 秒以上 6 秒未満続いた時

相手選手が反則を 3 回もしくは悪質な反則により主審が減点した場合

(3)優勢勝ち

試合終了時において一本、技ありの差がない場合は、審判の旗判定により勝敗を決する。

旗判定が引き分けの場合は、押さえ込みポイントの数により勝敗を決する。同数の場合は審判の合議とする。

※押さえ込みポイント：投げ技、倒し技等により転倒した相手を瞬時に安定した形で押さえ込んだ場合に与えられる。

※判定の基準 1：打撃 2：立ち組み技 の順で判定する。

※このルールの出場者は初心者である為、ダウンや主審の判断によるテクニカルノックアウト等は早めに宣告し、特に安全に考慮したものとする。

第9条 試合において認められる攻撃

(1)立っている状態（スタンド状態）

スタンドの定義：体の足の裏以外がマット（床）に触れていない状態（タックル等を失敗して膝や手が床についている場合は、例外もありうる）

有効な打撃：打撃技（パンチ、蹴り、肘打ち、膝蹴り、頭突き）、投げ技、倒し技

(2)寝ている状態（グラウンド状態）

グラウンド状態の定義（グラウンド時間等）：足の裏以外が地面に着いた状態（投げ、転倒、ひきこみ等で審判の「グラウンド」コールにより寝技の状態とみなす。寝技の制限時間は10秒とする。

有効な攻撃：有効な攻撃：抑え込み（ガードポジションを維持したら主審のコールで終了する。

※双方がポジションを維持していない場合は寝技の制限時間まで続行する。

第10条 場外

赤マット外側ラインを境に内側を場内、外側を場外とする。

第11条 反則

金的攻撃、噛み付き、脳天及び脊柱への打撃攻撃、（後頭部、脊柱、延髄）、脳天や後頭部から落とす投げ技（背中から落とすものは認める。）、3本以下の指を掴むこと、頭髪や喉、鼻、耳を掴む、粘膜部分への攻撃（目、鼻、耳、口、肛門等の凹部）、グラウンド状態での打撃、ダウンしている者への攻撃、関節技、絞め技、マスクを掴む行為

※ 反則行為があった場合：1度目で「反則1」と主審がコールする。1、2回目は判定に加味されない。3回目で相手に技あり、4回目で一本とし、悪質な反則は主審判断で1度で失格もありうる。

シニアの部 ルール

第1条 試合概要

試合は個人戦トーナメント方式。

打撃技・投げ技・抑え込み技ポイント化したフルコンタクト。

ポイント&KO制。

第2条 階級

軽量級（65kg以下、女子52kg以下）中量級（66kg～75kg以下、女子53kg～57kg以下）重量級（76kg以上、女子58kg以上）

ただしトーナメント開催の際に、出場者数によっては安全に考慮した上で階級の統廃合する場合がある

第3条 試合時間

1分30秒、時間内にポイント差がない場合は、延長先取り1ポイントで勝敗を決する。

第4条 服装

試合は、日本武道総合格闘技連盟技術部が認定した清潔な空手着、柔道着、柔術着を着用する。

また、袖等を短く切る等の加工を禁ずる。

なお、空手道禅道会の選手は日本武道総合格闘技連盟技術部指定の空手着を着用することとする。

第5条 防具

出場選手は、スーパーセーフ面、拳サポーター、脛サポーターを着用する。

男子はフェールカップを着用し、道着の中(上半身)には何も着用しない。

なお空手道禅道会の選手は日本武道総合格闘技連盟技術部認定の防具を着用すること。

他団体の選手は、防具が同一の物であれば、実行委員長もしくは、その権限を委譲された者のチェックを受け許可されたならば使用することができる。

第6条 計量

大会当日に体重計量を実施する。計量の結果、申込体重より3kgオーバーで相手に1ポイント与えられる。

以後500gオーバーするごとに相手に1ポイント加算され、6kgオーバーで失格となる。

第7条 試合の勝敗

「一本勝ち」

1本あるいは7ポイント先取するか、審判が相手に続行不可能と判断した場合。

「優勢勝ち」

本戦終了時に1ポイントでも多く先取していた先取の優勢勝ちとする。

「延長先取り1ポイント勝負」

本戦時間内で勝敗が決しなかった場合、延長戦で先に1ポイント先取した方の勝ちとする。

第8条 有効な技と各ポイント

ポイントとなる技は基本に忠実な技で相応の威力がなければならない。

また、年齢により技の威力、完成度が異なるため、細部は審判の判断とする。

「有効な技」

ストレート、フック、アッパー、肘打ち、頭突き、前蹴り、横蹴り、回し蹴り、後ろ蹴り、後ろ回し蹴り、膝蹴り、投げ技、崩し技、小学生以下の胴タックル、中学生以上のタックル、押さえ込み、(ガードポジションはポイントにならない)

「一本」

一ダウンあるいはそれに近い打撃が決まった場合及び顔面に打撃を受けて転倒した場合(押されたように倒れた場合はグラウンドコールでグラウンド)相手が戦意喪失になった場合、その他審判が続行不可能と判断した場合等。

「2ポイント」

上段への蹴り技(回し蹴り、後ろ蹴り、後ろ回し蹴り、横蹴り、前蹴り、膝蹴り等)が的確に決まった場合。相手を的確に押さえ込んだ場合。

「1ポイント」

上記以外の有効な打撃が上、中、下段に決まった時(相応の威力が必要であり、中、下段については特に無防備な状態やノーガードの状態に入ったもの等とする)。

尚、相手が横を向いたり、構えが崩れている状態に決まった打撃については軽くても取る場合がある。

下がりながら打った打撃は相応の威力がない場合ポイントとはなりにくい。

投げ、崩しが決まった場合(投げた方が勢いで下になっても、投げのポイントは投げた方に加算される)。

相手選手が場外反則となった場合。

第9条 寝技の定義(グラウンド時間等)

足の裏以外が地面に着いた場合(投げ、転倒、ひきこみ等)に審判の「グラウンド」コールで寝技になる。

※転倒、ひきこみによる相手へのポイントはない。

寝技の制限時間は10秒とする。

押さえ込み、ガードポジションを維持したら主審のコールで終了する。

双方がポジションを維持していない場合は寝技の制限時間まで続行する。

第10条 反則

有効技以外の技、後頭部、延髄、頸椎、脊柱、関節部、金的、粘膜(目、耳、鼻、口、肛門等)への攻撃、必要以上のつかみ、小学生以下の下半身へのタックル、かにはさみ、その他非道徳的な行為等。ペナルティーポイントは審判に一任する。

第11条 場外反則

体半分以上が試合場の外枠より出た場合、審判の判断により場外反則として相手に1ポイントが与えられる。ただし、無理に押し出したりしたもの等はその限りではない。

『2016 拳真祭』ワールド F.S.A 空手グランプリ

参加申込書

大会最高審判長 羽山威行 殿

私儀、上記の通り相違がなく、また本大会のルールに従い正々堂々と競技することをここに誓います。万一試合中の事故、ケガがあった時、主催者側及び誰にも責任の所在を問うものでない事を誓約致します。

(未成年者の場合)保護者氏名 _____ ⑩ 日付 / _____

(本人)氏名 _____ ⑩ 日付 / _____

団体・道場名	代表者	印
道場住所 〒		
TEL	FAX	携帯電話
※(必須)PCメールアドレス		

ふりがな		性別 男・女	年齢	歳
氏名		昭和・平成	年	月 日
住所 〒		生		
電話番号		携帯番号		
身長	体重	学年		年生
cm	kg			
級・段位	帯色	備考		
出場部門(必ず○を付けてください) フルコン・防具付空手・型・グローブ空手 武蔵 MMA(総合格闘技ルール) RF チャレンジルール	出場 種目番号	出場 種目名		
修行年数及び過去の大会入賞実績 (詳しく記載ください)		スポーツ保険加入チェック欄 (○で囲んでください) 未加入者は出場できません		
		有 ・ 無		

